



平成 25 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 大場 典彦
(JASDAQ・コード 7918)
問い合わせ先 役職・氏名 取締役 今井 将和
電 話 番 号 03-5155-6801

(訂正・数値データ訂正あり)「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 6 日付けにて「誤謬により不適切な会計処理が行われたことの判明及び社内調査委員会の設置についてのお知らせ」を公表いたしましたとおり、過去の会計処理に一部誤りがあることが判明し、本件に関して社内調査委員会による調査を実施してまいりました。この調査結果につきましては、本日公表いたしました「社内調査報告書の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

その結果、当社が平成 25 年 11 月 14 日に公表いたしました「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」を訂正することとなりましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線__を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
コード番号 7918 URL <http://www.via-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大場 典彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 能仁 一朗

TEL 03-5155-6801

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,578	△11.7	530	△40.5	429	△40.0	477	41.4
25年3月期第2四半期	14,251	△7.4	891	6.7	716	3.0	337	△41.7
(注) 包括利益	26年3月期第2四半期 523百万円 (74.9%)				25年3月期第2四半期 299百万円 (△44.7%)			
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
26年3月期第2四半期	19.61		—					
25年3月期第2四半期	13.87		—					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	19,811	4,543	22.9	88.10
25年3月期	22,128	4,135	18.7	66.43

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,543百万円 25年3月期 4,135百万円

(注)「1株当たり純資産」の算定は、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を期末の発行済株式数(自己株式数を除く)で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注2)26年3月期の普通株式の配当金額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,400	△10.4	1,200	△19.2	900	△15.8	800	△16.6	27.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、 除外 1社(社名) 株式会社暁印刷

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	24,329,600株	25年3月期	24,324,700株
26年3月期2Q	2,500株	25年3月期	2,426株
26年3月期2Q	24,325,530株	25年3月期2Q	24,320,618株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

1. 個別業績の概要

平成26年3月期第2四半期の個別業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	910	209.4	475	—	450	—	569	—
25年3月期第2四半期	294	△48.3	△82	—	△160	—	△102	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.42	—
25年3月期第2四半期	△4.21	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,889	5,687	31.8	135.13
25年3月期	18,811	5,188	27.6	109.71

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,687百万円 25年3月期 5,188百万円

(注) 「1株当たり純資産」の算定は、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を期末の発行済株式数（自己株式数を除く）で除して算出しております。

2. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	50,000.00	50,000.00
26年3月期	—	—			
26年3月期（予想）			—	50,000.00	50,000.00

(注) A種優先株式は、平成23年9月に発行しております。発行時に定められたA種優先株式発行要領に基づき、平成24年3月期より配当を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策及び経済対策の効果と期待から円安・株高が進み、企業収益や個人消費にゆるやかな回復が見られました。一方で、新興国における景気減速に対する懸念は根強く、国内においても円安による物価の上昇や消費増税に対する消費防衛的なムードが強まるなど、先行きの不透明感が未だ拭えない状況にあります。

外食を含む国内消費財分野においては、高級消費財を中心とするハイエンド分野において消費行動の改善の兆しが見られましたが、全体的な消費マインドの大幅な向上には至っておりません。特に外食業界においては、本格的な需要回復には至らず、依然として熾烈な競争状態のなか、厳しい経営環境が継続しております。

こうしたなか、当社グループにおいては、平成25年5月に今後の大きな飛躍に向けた5ヵ年の中期経営計画『**Dynamic Challenge 500** ～新たな成長で、新たなステージへ～』を策定し、「既存業態のブラッシュアップと新規出店の加速化」「フランチャイズ店舗の積極展開」「M&Aによる経営資源の強化とドミナント形成の推進」を戦略方針に掲げ、それぞれの施策を進めてまいりました。

新規出店については、立地開発のための人員や情報収集ネットワークの体制が整い、計画どおりの出店を見込んでおります。既存店については、販促による値引や節約意識の影響などにより客単価は前年を下回ったものの、客数は前年を上回ること、売上高においてはほぼ横ばいを維持することができました。

売上原価については、品質の向上と粗利益の確保に向けたメニューミックスを行うものの、円安の影響による食材単価の上昇等の影響はまかなえず、店舗の売上原価率は前年に比して0.7%アップしました。販売管理費については、新規出店体制の整備による人員配置の増加やエネルギーコストの負担増加等により、売上販管費率は前年に比して上昇しました。

また、平成25年4月24日には連結子会社である暁印刷の株式を全て売却し、598百万円の特別利益を計上しました。これにより当社グループは、当社と4社の事業子会社からなる外食専門の企業グループとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は12,578百万円（前年同四半期比11.7%減）、営業利益は530百万円（同40.5%減）、経常利益は429百万円（同40.0%減）、四半期純利益は477百万円（同41.4%増）となりました。なお、前年同四半期の実績には売却した暁印刷の業績が含まれており、当第2四半期連結累計期間の実績には暁印刷の業績は含まれておりません。

報告セグメントについては、当社グループは当期から外食サービス事業のみの単一セグメントとなりましたので、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,317百万円減少し、19,811百万円となりました。これは、連結子会社であった暁印刷の株式譲渡等により、受取手形及び売掛金が798百万円減少したこと、有形固定資産が651百万円減少したこと、敷金及び保証金が156百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債の部では、支払手形及び買掛金が926百万円減少したこと、借入金が1,244百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ2,724百万円減少し、15,268百万円となりました。

純資産の部は、資本剰余金が剰余金の配当により120百万円減少したこと、利益剰余金が四半期純利益により477百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ407百万円増加

し、4,543百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.2ポイント上がり22.9%となり、1株当たり純資産額は88円10銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金収入272百万円（前年同四半期比75.9%減）、投資活動による資金収入942百万円（同1,203百万円増）、財務活動による資金支出1,541百万円（同378百万円増）により、前連結会計年度末に比べ、326百万円減少し、2,719百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は272百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益890百万円、減価償却費520百万円、のれん償却額71百万円、減損損失90百万円、子会社株式売却益598百万円及び法人税等の支払額261百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は942百万円となりました。これは主に、子会社株式の売却による収入624百万円、貸付金の回収による収入601百万円、敷金・保証金の回収による収入176百万円及び既存店のリニューアルや新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出399百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1,541百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,244百万円、リース債務の返済による支出77百万円、長期未払金の返済による支出98百万円及び配当金の支払による支出120百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年3月期の連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、平成25年5月15日付「決算短信」の公表数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社子会社であった株式会社暁印刷は、平成25年4月24日付けで全株式の譲渡を行ったため、連結子会社から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,046	2,719
受取手形及び売掛金	1,168	370
商品及び製品	38	—
仕掛品	71	—
原材料及び貯蔵品	177	174
繰延税金資産	226	452
その他	306	453
貸倒引当金	△22	△0
流動資産合計	5,014	4,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,418	6,141
機械装置及び運搬具（純額）	456	431
工具、器具及び備品（純額）	415	401
リース資産（純額）	385	365
土地	1,746	1,393
建設仮勘定	5	43
有形固定資産合計	9,427	8,776
無形固定資産		
のれん	2,091	2,016
その他	312	281
無形固定資産合計	2,404	2,297
投資その他の資産		
投資有価証券	955	983
長期貸付金	13	12
敷金及び保証金	3,007	2,850
繰延税金資産	1,190	622
その他	141	92
貸倒引当金	△36	△0
投資その他の資産合計	5,272	4,561
固定資産合計	17,104	15,635
繰延資産	10	5
資産合計	22,128	19,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,059	1,133
短期借入金	10,494	10,000
未払金	475	489
未払費用	687	564
未払法人税等	288	109
賞与引当金	200	149
リース債務	158	158
店舗閉鎖損失引当金	52	46
株主優待引当金	15	20
その他	296	210
流動負債合計	14,728	12,880
固定負債		
長期借入金	2,505	1,755
リース債務	316	296
繰延税金負債	—	—
その他	442	335
固定負債合計	3,264	2,387
負債合計	17,993	15,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,769
資本剰余金	4,987	2,529
利益剰余金	△3,400	△582
自己株式	△1	△2
株主資本合計	4,352	4,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△206	△164
繰延ヘッジ損益	△10	△6
その他の包括利益累計額合計	△217	△170
純資産合計	4,135	4,543
負債純資産合計	22,128	19,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	14,251	12,578
売上原価	5,058	3,875
売上総利益	9,192	8,703
販売費及び一般管理費	8,300	8,172
営業利益	891	530
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	10
受取賃貸料	28	24
その他	13	21
営業外収益合計	53	56
営業外費用		
支払利息	180	138
その他	48	19
営業外費用合計	229	158
経常利益	716	429
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7	—
子会社株式売却益	—	598
特別利益合計	7	598
特別損失		
固定資産除却損	31	18
減損損失	9	90
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	28
その他	2	0
特別損失合計	43	137
税金等調整前四半期純利益	679	890
法人税、住民税及び事業税	173	90
法人税等調整額	168	323
法人税等合計	342	413
少数株主損益調整前四半期純利益	337	477
四半期純利益	337	477

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	337	477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	42
繰延ヘッジ損益	3	4
その他の包括利益合計	△37	46
四半期包括利益	299	523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299	523
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	679	890
減価償却費	580	520
のれん償却額	71	71
繰延資産償却額	3	3
減損損失	9	90
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△9
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△64	△6
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	5
新株予約権発行に伴うみなし人件費	4	4
受取利息及び受取配当金	△10	△10
支払利息	180	138
子会社株式売却損益(△は益)	—	△598
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
固定資産除売却損益(△は益)	31	18
売上債権の増減額(△は増加)	67	62
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8	0
その他の流動資産の増減額(△は増加)	53	△202
仕入債務の増減額(△は減少)	△79	△102
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7	16
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△34	△172
その他	△77	△50
小計	1,396	664
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△197	△141
法人税等の支払額	△79	△261
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,129	272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△330	△399
無形固定資産の取得による支出	△11	△23
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	624
短期貸付金の増減額(△は増加)	△2	—
長期貸付けによる支出	—	△0
長期貸付金の回収による収入	1	601
長期未収入金の増減額(△は増加)	3	—
敷金及び保証金の差入による支出	△32	△44
敷金及び保証金の回収による収入	112	176
預り保証金の返還による支出	△0	△0
預り保証金の受入による収入	—	0
その他	△1	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	942

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	—
長期借入金の返済による支出	△907	△1,244
長期未払金の返済による支出	△105	△98
リース債務の返済による支出	△86	△77
株式の発行による収入	0	0
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△63	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,162	△1,541
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△294	△326
現金及び現金同等物の期首残高	4,148	3,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,853	2,719

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービス事業	印刷流通事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,731	1,520	14,251	—	14,251	—	14,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	68	68	—	68	△68	—
計	12,731	1,588	14,320	—	14,320	△68	14,251
セグメント利益	947	111	1,058	—	1,058	<u>△166</u>	<u>891</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△166百万円には、セグメント間取引消去281百万円、のれんの償却額△71百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△377百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、9百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループは「外食サービス事業」の単一セグメントであり、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「外食サービス事業」と「印刷流通事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、当第2四半期連結累計期間より「外食サービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「印刷流通事業」を営む連結子会社株式会社暁印刷の株式を全て譲渡したことにより、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外したことによるものであります。

【訂正前】



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月14日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
コード番号 7918 URL <http://www.via-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）大場 典彦

問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）能仁 一朗

TEL 03-5155-6801

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,578	△11.7	487	△43.3	385	△43.6	434	40.8
25年3月期第2四半期	14,251	△7.4	859	7.2	683	3.5	308	△45.5

（注）包括利益 26年3月期第2四半期 480百万円（77.7%） 25年3月期第2四半期 270百万円（△48.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.85	—
25年3月期第2四半期	12.69	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	19,761	4,488	22.7	85.84
25年3月期	22,120	4,123	18.6	65.92

（参考）自己資本 26年3月期第2四半期 4,488百万円 25年3月期 4,123百万円

（注）「1株当たり純資産」の算定は、（期末純資産の部合計－優先株式の発行金額）を期末の発行済株式数（自己株式数を除く）で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注1）上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

（注2）26年3月期の普通株式の配当金額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,400	△10.4	1,200	△15.5	900	△10.4	800	△12.4	27.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、 除外 1社(社名) 株式会社暁印刷

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	24,329,600株	25年3月期	24,324,700株
26年3月期2Q	2,500株	25年3月期	2,426株
26年3月期2Q	24,325,530株	25年3月期2Q	24,320,618株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

1. 個別業績の概要

平成26年3月期第2四半期の個別業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	910	209.4	475	—	450	—	569	—
25年3月期第2四半期	294	△48.3	△82	—	△160	—	△102	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.42	—
25年3月期第2四半期	△4.21	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,889	5,687	31.8	135.13
25年3月期	18,811	5,188	27.6	109.71

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,687百万円 25年3月期 5,188百万円

(注) 「1株当たり純資産」の算定は、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を期末の発行済株式数（自己株式数を除く）で除して算出しております。

2. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	50,000.00	50,000.00
26年3月期	—	—			
26年3月期（予想）			—	50,000.00	50,000.00

(注) A種優先株式は、平成23年9月に発行しております。発行時に定められたA種優先株式発行要領に基づき、平成24年3月期より配当を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策及び経済対策の効果と期待から円安・株高が進み、企業収益や個人消費にゆるやかな回復が見られました。一方で、新興国における景気減速に対する懸念は根強く、国内においても円安による物価の上昇や消費増税に対する消費防衛的なムードが強まるなど、先行きの不透明感が未だ拭えない状況にあります。

外食を含む国内消費財分野においては、高級消費財を中心とするハイエンド分野において消費行動の改善の兆しが見られましたが、全体的な消費マインドの大幅な向上には至っておりません。特に外食業界においては、本格的な需要回復には至らず、依然として熾烈な競争状態のなか、厳しい経営環境が継続しております。

こうしたなか、当社グループにおいては、平成25年5月に今後の大きな飛躍に向けた5ヵ年の中期経営計画『**Dynamic Challenge 500** ～新たな成長で、新たなステージへ～』を策定し、「既存業態のブラッシュアップと新規出店の加速化」「フランチャイズ店舗の積極展開」「M&Aによる経営資源の強化とドミナント形成の推進」を戦略方針に掲げ、それぞれの施策を進めてまいりました。

新規出店については、立地開発のための人員や情報収集ネットワークの体制が整い、計画どおりの出店を見込んでおります。既存店については、販促による値引や節約意識の影響などにより客単価は前年を下回ったものの、客数は前年を上回ること、売上高においてはほぼ横ばいを維持することができました。

売上原価については、品質の向上と粗利益の確保に向けたメニューミックスを行うものの、円安の影響による食材単価の上昇等の影響はまかなえず、店舗の売上原価率は前年に比して0.7%アップしました。販売管理費については、新規出店体制の整備による人員配置の増加やエネルギーコストの負担増加等により、売上販管費率は前年に比して上昇しました。

また、平成25年4月24日には連結子会社である暁印刷の株式を全て売却し、598百万円の特別利益を計上しました。これにより当社グループは、当社と4社の事業子会社からなる外食専門の企業グループとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は12,578百万円（前年同四半期比11.7%減）、営業利益は487百万円（同43.3%減）、経常利益は385百万円（同43.6%減）、四半期純利益は434百万円（同40.8%増）となりました。なお、前年同四半期の実績には売却した暁印刷の業績が含まれており、当第2四半期連結累計期間の実績には暁印刷の業績は含まれておりません。

報告セグメントについては、当社グループは当期から外食サービス事業のみの単一セグメントとなりましたので、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,359百万円減少し、19,761百万円となりました。これは、連結子会社であった暁印刷の株式譲渡等により、受取手形及び売掛金が798百万円減少したこと、有形固定資産が651百万円減少したこと、敷金及び保証金が156百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債の部では、支払手形及び買掛金が926百万円減少したこと、借入金が1,244百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ2,724百万円減少し、15,273百万円となりました。

純資産の部は、資本剰余金が剰余金の配当により120百万円減少したこと、利益剰余金が四半期純利益により434百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ364百万円増加

し、4,488百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.1ポイント上がり22.7%となり、1株当たり純資産額は85円84銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金収入272百万円（前年同四半期比75.9%減）、投資活動による資金収入942百万円（同1,203百万円増）、財務活動による資金支出1,541百万円（同378百万円増）により、前連結会計年度末に比べ、326百万円減少し、2,719百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は272百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益847百万円、減価償却費520百万円、のれん償却額115百万円、減損損失90百万円、子会社株式売却益598百万円及び法人税等の支払額261百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は942百万円となりました。これは主に、子会社株式の売却による収入624百万円、貸付金の回収による収入601百万円、敷金・保証金の回収による収入176百万円及び既存店のリニューアルや新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出399百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1,541百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,244百万円、リース債務の返済による支出77百万円、長期未払金の返済による支出98百万円及び配当金の支払による支出120百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年3月期の連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、平成25年5月15日付「決算短信」の公表数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社子会社であった株式会社暁印刷は、平成25年4月24日付けで全株式の譲渡を行ったため、連結子会社から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,046	2,719
受取手形及び売掛金	1,168	370
商品及び製品	38	—
仕掛品	71	—
原材料及び貯蔵品	177	174
繰延税金資産	226	452
その他	306	453
貸倒引当金	△22	△0
流動資産合計	5,014	4,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,418	6,141
機械装置及び運搬具（純額）	456	431
工具、器具及び備品（純額）	415	401
リース資産（純額）	385	365
土地	1,746	1,393
建設仮勘定	5	43
有形固定資産合計	9,427	8,776
無形固定資産		
のれん	1,966	1,847
その他	312	281
無形固定資産合計	2,279	2,128
投資その他の資産		
投資有価証券	955	983
長期貸付金	13	12
敷金及び保証金	3,007	2,850
繰延税金資産	1,307	741
その他	141	92
貸倒引当金	△36	△0
投資その他の資産合計	5,389	4,680
固定資産合計	17,096	15,585
繰延資産	10	5
資産合計	22,120	19,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,059	1,133
短期借入金	10,494	10,000
未払金	475	489
未払費用	687	564
未払法人税等	288	109
賞与引当金	200	149
リース債務	158	158
店舗閉鎖損失引当金	52	46
株主優待引当金	15	20
その他	296	210
流動負債合計	14,728	12,880
固定負債		
長期借入金	2,505	1,755
リース債務	316	296
繰延税金負債	4	4
その他	442	335
固定負債合計	3,268	2,392
負債合計	17,997	15,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,769
資本剰余金	4,987	2,529
利益剰余金	3,412	△637
自己株式	△1	△2
株主資本合計	4,340	4,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△206	△164
繰延ヘッジ損益	△10	△6
その他の包括利益累計額合計	△217	△170
純資産合計	4,123	4,488
負債純資産合計	22,120	19,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	14,251	12,578
売上原価	5,058	3,875
売上総利益	9,192	8,703
販売費及び一般管理費	8,333	8,216
営業利益	859	487
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	10
受取賃貸料	28	24
その他	13	21
営業外収益合計	53	56
営業外費用		
支払利息	180	138
その他	48	19
営業外費用合計	229	158
経常利益	683	385
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7	—
子会社株式売却益	—	598
特別利益合計	7	598
特別損失		
固定資産除却損	31	18
減損損失	9	90
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	28
その他	2	0
特別損失合計	43	137
税金等調整前四半期純利益	647	847
法人税、住民税及び事業税	173	90
法人税等調整額	164	322
法人税等合計	338	412
少数株主損益調整前四半期純利益	308	434
四半期純利益	308	434

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	308	434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	42
繰延ヘッジ損益	3	4
その他の包括利益合計	△37	46
四半期包括利益	270	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270	480
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	647	847
減価償却費	580	520
のれん償却額	103	115
繰延資産償却額	3	3
減損損失	9	90
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△9
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△64	△6
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	5
新株予約権発行に伴うみなし人件費	4	4
受取利息及び受取配当金	△10	△10
支払利息	180	138
子会社株式売却損益(△は益)	—	△598
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
固定資産除売却損益(△は益)	31	18
売上債権の増減額(△は増加)	67	62
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8	0
その他の流動資産の増減額(△は増加)	53	△202
仕入債務の増減額(△は減少)	△79	△102
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7	16
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△34	△172
その他	△77	△50
小計	1,396	664
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△197	△141
法人税等の支払額	△79	△261
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,129	272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△330	△399
無形固定資産の取得による支出	△11	△23
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	624
短期貸付金の増減額(△は増加)	△2	—
長期貸付けによる支出	—	△0
長期貸付金の回収による収入	1	601
長期未収入金の増減額(△は増加)	3	—
敷金及び保証金の差入による支出	△32	△44
敷金及び保証金の回収による収入	112	176
預り保証金の返還による支出	△0	△0
預り保証金の受入による収入	—	0
その他	△1	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	942

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	—
長期借入金の返済による支出	△907	△1,244
長期未払金の返済による支出	△105	△98
リース債務の返済による支出	△86	△77
株式の発行による収入	0	0
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△63	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,162	△1,541
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△294	△326
現金及び現金同等物の期首残高	4,148	3,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,853	2,719

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービス事業	印刷流通事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,731	1,520	14,251	—	14,251	—	14,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	68	68	—	68	△68	—
計	12,731	1,588	14,320	—	14,320	△68	14,251
セグメント利益	947	111	1,058	—	1,058	<u>△199</u>	<u>859</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△199百万円には、セグメント間取引消去281百万円、のれんの償却額△103百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△377百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、9百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループは「外食サービス事業」の単一セグメントであり、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「外食サービス事業」と「印刷流通事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、当第2四半期連結累計期間より「外食サービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「印刷流通事業」を営む連結子会社株式会社暁印刷の株式を全て譲渡したことにより、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外したことによるものであります。